

淡青丸 研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

* 航海番号 K T - 1 1 - 1 3 次研究航海

* 観測海域 大阪湾

* 航海期間 平成23年6月30日(木)～平成23年7月2日(土)

* 出港日時・場所 6月30日13時55分 神戸 港

* 入港日時・場所 7月 1日16時30分 和歌山港

* 寄港期間・場所

* 航海の研究題目

(和文) 瀬戸内海東部, 大阪湾における古海洋学的研究 -縄文時代, 弥生時代, 古墳時代の人間活動と周辺環境の復元 -

(英文) Study on the reconstruction of paleoceanography and the relevant paleo-environments in the eastern Seto Inland Sea and Osaka Bay during Jomon, Yayoi, Kofun and historical eras

* 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス◎は@)

川幡穂高・東京大学大気海洋研究所・教授・kawahata◎aori.u-tokyo.ac.jp

* 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス), 観測項目

1. 縄文中期の環境復元に関する研究
2. 海水準変動に関する研究
3. 古環境間接指標の確立のための研究

1. 高時間解像度(1～10年)で定量的な環境復元(水温, 降雨, 塩分, 生物生産など)および総合解析, 川幡穂高(kawahata◎aori.u-tokyo.ac.jp), 採泥
2. 塩分-降水量(有孔虫炭酸塩殻の酸素同位体比との連立方程式)の解析, CT スキャン, 村山雅史(Murayama◎kochi-u.ac.jp), 北川善理, 炭酸塩 Mg/Ca 分析(下船後陸上)
3. 堆積環境の復元, 川幡穂高(kawahata◎aori.u-tokyo.ac.jp), 戸上亜美, 東 賢吾, 荒岡大輔, 松岡めぐみ, 同位体分析(下船後陸上)
4. 有機炭素を基にした生物生産の解析, 川幡穂高(kawahata◎aori.u-tokyo.ac.jp), 戸上亜美, 東 賢吾, 荒岡大輔, 松岡めぐみ, 有機炭素分析(下船後陸上)

5. 無機元素を基にした環境解析, 川幡穂高 (kawahata@aori.u-tokyo.ac.jp), 戸上亜美, 東 賢吾, 荒岡大輔, 松岡めぐみ, 無機化学分析 (下船後陸上)

* 乗船研究者氏名・所属・職名

川幡穂高・東京大学大気海洋研究所・教授

村山雅史・高知大学海洋コア総合研究センター・教授

荒岡大輔・東京大学海洋研究所・大学院生

東 賢吾・東京大学海洋研究所・大学院生

松岡めぐみ・東京大学海洋研究所・大学院生

戸上亜美・東京大学海洋研究所・大学院生

北川善理・高知大学理学部・大学院生

亀尾 桂・東京大学海洋研究所・技術職員

中野幸彦・マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員)

* 航跡・測点図

OS5:緯34° 31.632' 経135° 12.606' 水深24.9m

OS4:緯34° 33.816' 経135° 14.882' 水深21.0m

OS14:緯34° 25.882' 経135° 04.204' 水深23.1m

